

平成 19 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 千代田化工建設株式会社  
代表者名 取締役社長 久保田 隆  
(コード番号 6366 東証第一部)  
問合せ先 主計部長 楠 真治  
(TEL 045-506-9410)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 14 日の決算発表時に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成20年3月期中間連結業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (平成19年5月14日発表)	275,000	15,000	19,500	12,000	62.41
今回修正予想(B)	312,547	11,420	17,303	10,641	55.35
増減額(B-A)	37,547	3,579	2,196	1,358	-
増減率(%)	13.7	23.9	11.3	11.3	-
(ご参考)前年中間期実績 (平成19年3月中間期)	210,981	13,490	16,697	11,173	58.14

2. 平成20年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年5月14日発表)	550,000	30,000	38,500	23,500	122.21
今回修正予想(B)	570,000	22,000	32,000	19,500	101.43
増減額(B-A)	20,000	8,000	6,500	4,000	-
増減率(%)	3.6	26.7	16.9	17.0	-
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	484,895	28,700	36,797	23,531	122.41

### 3. 修正の理由

売上高については、進行中の海外案件において設計・機器調達業務を中心に期首予想を上回り進捗したこと、仕様の変更やコスト増加に伴う追加受注を獲得したことによるものです。

営業利益については、工事従事者の逼迫による労務費の上昇及び生産性の低下に起因する工事費用の増大から前回発表予想を下回る見込みです。経常利益および当期利益についても、ジョイントベンチャー持分資産を中心とした利息収入が増加するものの、営業利益の下振れにより減益となる見込みです。

なお、今回の修正にあたっては、想定為替レート的前提を、期首予想時の1米ドル115円から110円に変更しております。

### 4. 見通しに関する注意事項

この資料に記載されている業績見通しは、種々の前提に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。従いまして、これらの見通しのみを依拠した判断をされることは控えるようお願い致します。

以 上